

# 令和4年度 事業報告

## 1 事業の概要

令和4年度生活介護は、9名中で、毎日4名、週3日が1名（他事業所も利用）希望時4名が利用する。障害支援区分6の利用者が半数近くを占めており、利用者のニーズや生活環境に応じた支援が必要となっている。

放課後等デイサービスは、支援学校児童が8名、地域の小学生1名、合計9名が利用。小学校3年生から高等部2年生までと年齢幅があり、特性の違いなどで個別に支援は必要であるが、みんなお互いの存在を認めながら仲良く過ごしている。

地域活動支援センターさんぽでは、『障害者に関する交流会』を開催し、さんぽ登録者以外を対象に、交流会をした。

## 2 令和4年度事業の実施に関する報告事項

### ① 障害者及び障害児の福祉に関する事業

#### ⅰ 障害者総合支援法に基づく生活介護事業所の実施運営

##### <サービスの概要>

排せつ及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力向上のために必要な援助を行う。

○生活介護事業所スマイル（京都府指定 2611500592）

\*利用契約者数 9名（男 2名、女 7名）/定員10名

\*実利用者数 9名（男 2名、女 7名）

（内訳）区分3 3名、区分4 2名、区分6 4名（R5.3.31 現在）

（延べ利用者数）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日数	22日	21日	22日	22日	22日	22日	21日	22日	20日
区分3	22	20	24	11	21	19	17	10	13
区分4	29	34	35	23	22	27	32	32	32
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	51	58	69	46	29	63	68	62	51
計	102	112	128	80	72	109	117	104	96

	1月	2月	3月
開所日数	20日	20日	23日
区分3	14	14	15
区分4	22	32	36
区分5	0	0	0
区分6	53	58	46
計	89	104	97

	合計
開所日数	257日
区分3	200
区分4	356
区分5	0
区分6	654
計	1210

- 創作・生産活動 自主製品作製、タイルアート、クッキング、園芸・農作業 など
- 販売活動 スマイルバザー（展示販売） 和知なごみバザー

< 課題・評価 >

重度障害者の割合が高い中、それぞれの利用者のニーズに応えられるよう努力をしている。給料をもらって働きたいという思いが出てきた利用者には、家族と相談し、自営の仕事を週2日手伝うことになった。思いが叶い家業を手伝うことで、気持ちの安定が得られた。また自宅以外の社会生活が苦手な利用者2名に対しては、無理強いせず利用を楽しめる内容で支援を続けている。支援の積み重ねにより、利用者のニーズは変化し支援の多様性が求められていることを感じる。

ii 児童福祉法に基づく放課後等デイサービスの実施運営

<サービスの概要>

授業の終了後又は学校の休業日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。

○放課後等デイサービススマイルピース（京都府指定 2651500015）

\*利用契約者数 9名（男 3名、女 6名）

\*実利用者数 9名（男 3名、女 6名）/定員10名（1日当たり）

（内訳） 支援学校 高等部2名 中学部3名 小学部3名 ひかり小1名

（R5.3.31 現在）

（延べ利用者数）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開所日	20	19	22	17	21	20	20	20	20
男	48	47	47	36	39	41	40	46	47
女	87	88	85	63	89	86	88	87	90
計	135	135	132	99	128	127	128	133	137

	1月	2月	3月	合計
開所日	18	19	22	238
男	42	38	45	516
女	74	73	98	1008
計	116	111	143	1524

- 取り組み 運動（公園、アスレチック等）お出かけ  
室内あそび（絵描き、パズル）等々

< 課題・評価 >

まだまだ新型コロナウイルス感染症予防対策の中の支援が続いたが、少しずつ活動範囲を広げ公園等出かける機会をつくっていった。コロナ渦生活のせいか、子どもの体力の低下を強く

感じた。お出かけは、子どもたちはとても楽しみにしており、春休みには、大阪のカップヌードルミュージアム、丹後鉄道、伊根湾遊覧船、外食体験、等 コロナ渦前の活動が復活できた。

### iii 日中一時支援事業受託実施（京丹波町、南丹市）

#### <サービスの概要>

障害者等の日中における活動の場を確保することにより、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族等の一時的な休息の確保並びに障害者等の日常生活を支援する。

\*R4 年度 現利用者 京丹波町 7名

(実利用者数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	7人	7人	6人	6人	5人	6人	6人	6人	5人

	1月	2月	3月
計	6人	6人	5人

	合計
計	71人

○令和4年4月より、京丹波町の日中一時支援事業の人員配置基準の改正に伴い開所日を制限していたが、毎月第二土曜日と祝日を開所日とする。

#### < 課題・評価 >

固定されていた利用者が、入所等で減っている中、日中一時支援事業の必要性は以前と変わらず感じている。毎週土曜の開所には、正職員の確保が必要になる。

### iv 京丹波町地域活動支援センター事業の運営（町委託）

#### <サービスの概要>

\*登録者数 41名 (R5.3.31 時点)

障害者等を対象に障害者等の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、日常生活支援、創作的活動及び生産活動の機会の提供並びに地域交流活動等を行う。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
開所日数	20日	19日	22日	20日	22日	20日	20日	20日
延べ利用者数	48	47	60	34	43	54	57	47
実利用者数	16	14	17	14	13	19	11	14

(人)

	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	20日	17日	19日	22日	241日
延べ利用者数	56	40	30	41	553
実利用者数	19	13	11	15	176

## ○創作活動

### 毎月のチャレンジ

- 4月 メッセージカード作り
- 5月 粘土細工
- 6月 レジンアクセサリ作り
- 7月 紙すき体験 和紙作り
- 8月 ランプシェード作り
- 9月 クラフトテープで小物作り
- 10月 デコバージョン
- 11月 クリスマスキャンドル作り
- 12月 松ぼっくりのクリスマスツリー
- 1月 ヤクルト容器の雪だるま
- 2月 うさぎのひな飾り作り
- 3月 フリーステッチ刺繍

## ○交流活動

- ・陶芸、絵付け教室 ・映画鑑賞会 ・外出行事（お花見 ぶどう狩り）
- ・障害者に関する交流会（5月、9月、2月）

### <総括>

利用者により充実した支援を提供するために、「今月のチャレンジ」として、毎月制作内容を提案し、1ヶ月間いつでも取り組めるようにしたことで、思い思いに利用者が過ごし制作を楽しんでいる姿があった。その関わりの中で必要な支援を見出し支援することができた。また地域福祉、障害者福祉への興味や理解を広げるために「障害者に関する交流会」を年3回開催し、延べ63名の参加があった。テーマに沿って障害者について交流をした。

### ▽ その他

○ひきこもり当事者とその家族との関わり

- ・京都府青少年ひきこもり訪問支援「チーム絆」相談受付対応

## 3 NPO 法人スマイル会員加入状況

<加入状況>

令和5年3月31日時点

内 訳	正会員	賛助会員（口数）
員 数	20名	1名
合計金額	60,000円 (入会金：2,000円) (年会費：3,000円)	5,000円 (1口：1,000円)